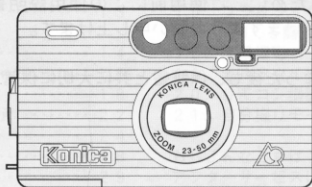
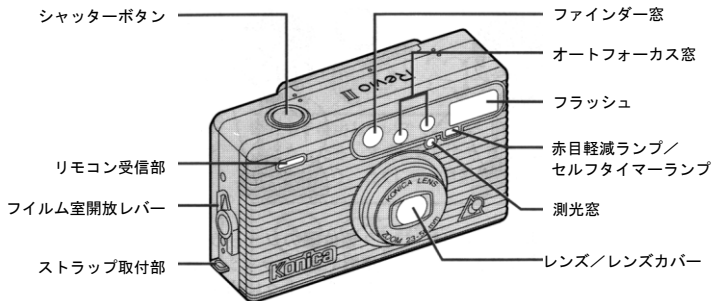
Konica Revio II

ご使用前に必ず
お読みください。

使用説明書

各部の名称

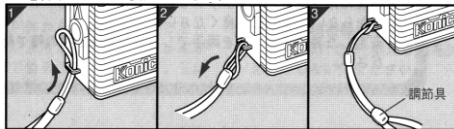
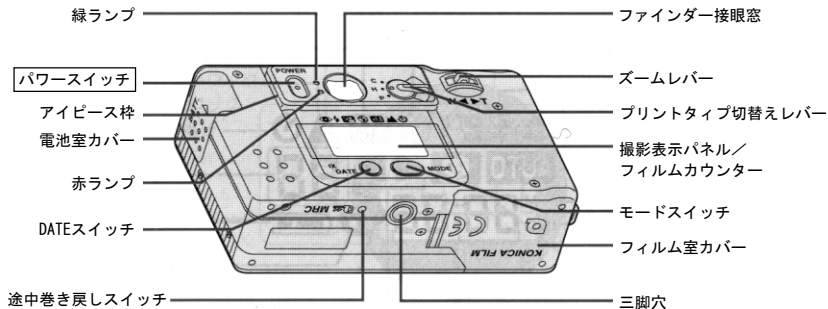
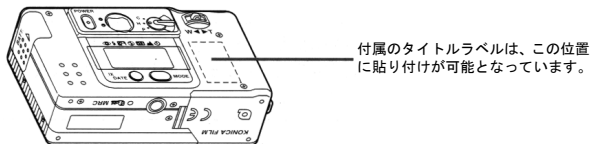
シャッターボタン
リモコン受信部
フイルム室開放レバー
ストラップ取付部
ファインダー窓
オートフォーカス窓
フラッシュ
赤目軽減ランプ／
セルフタイマーランプ
測光窓
レンズ／レンズカバー

ストラップの取付け方

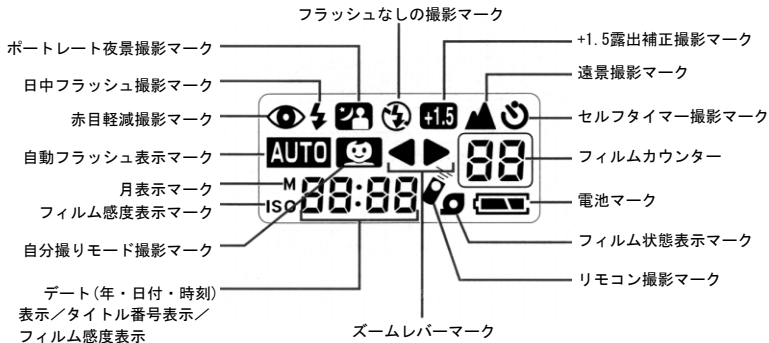
ストラップ取付部にストラップ先端の細いヒモの部分を通し､通したヒモの輪にもう一方のストラップの端を通して、引っ張ってください。

＊ 調節具の突起部は、フィルムの途中巻き戻しをする際、スイッチを押すときにご使用ください。

緑ランプ
ファインダー接眼窓
パワースイッチ
ズームレバー
アイピース枠
プリントタイプ切替えレバー
電池室カバー
撮影表示パネル／
フィルムカウンター
赤ランプ
モードスイッチ
DATEスイッチ
フィルム室カバー
途中巻き戻しスイッチ
三脚穴

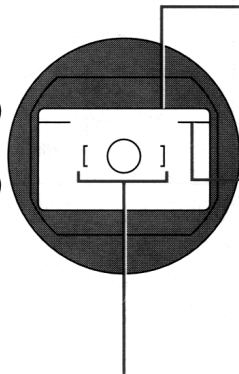
タイトルラベルの貼り位置

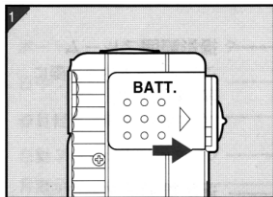
付属のタイトルラベルは、この位置
に貼り付けが可能となっています。

撮影表示パネル

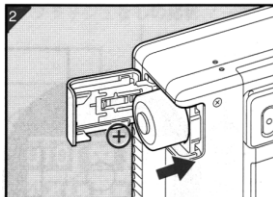
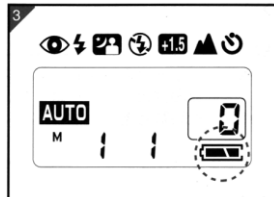
＊図は全ての液晶を点灯状態で示してあります。

＊ 撮影表示パネルには、ELバックライト付き液晶を使用しています。バックライトは、電源ON時／モードまたはDATEスイッチを押したとき／および自分撮りミラーアダプターを操作したときに点灯します。

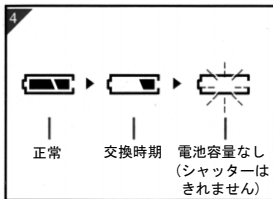
ファインダーと表示ランプ

＊Hタイプの撮影フレームで説明いたします。

＊ 自分撮りモード撮影になっているときは、緑ランプと赤ランプが交互に点滅します。

1. 電池の入れ方

＊電池を入れた時、交換した時は必ずオートデートおよびタイトルの確認・修正をしてください。

電池室カバーを矢印方向へスライドさせると、カバーが開きます。

＊ 電池を入れるときや交換するときは、必ず電源をOFFにしてから行ってください。

電池の＋、－を電池室内の表示に合わせて正しい向きで入れ、電池室カバーを閉めてください。

パワースイッチを押して電源ONにした状態で、撮影表示パネルを確認してください。電池マークが黒く点灯していれば、電池容量はOKです。

⚠警告	爆発して大けがの危険があります。電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、充電をしないでください。
⚠警告	電池は乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと死亡する危険があります。

使用電池は、リチウム電池(CR2:3V)1本です。

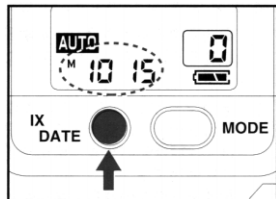
* 撮影途中で電池マークが2/3白くなったら、最後まで撮影してフィルムを巻き戻した後、電池交換してください。
* 長期間の旅行や、たくさんの写真を撮るときには、予備の電池を用意することをおすすめします。
* 連続してフラッシュ撮影すると電池容量が少ない表示になり、自動的にパワーOFFになることがあります。この場合、しばらく待ってから電源ONにしてください。電源ONにしたときに、電池容量が十分な表示になれば、そのまま撮影が続けられます。
* 寒冷地では電池の性能が低下しますので、カメラを保温しながらご使用ください。まれに、電池の容量が十分でも、容量が少ない表示になることがあります。

電池交換するときのご注意

1) 電池交換するときは、必ず電源をOFFにしてから行ってください。
2) 電池マークが点灯している間(約20秒間)に交換すると、日付・時刻は元のまま(修正せずに)使用できます。
   電池マークが全部白くなったときは、日付・時刻を合わせ直してください。
3) 電池マークが全部白くなると、シャッターがロックされます。
4) 新品電池に交換後に電源ONしても、電池マークが全部白くなる場合は故障です。当社サービスステーションにお持ちください。

2. オートデート

＊日付・時刻を合わせてください。

2050年までの日付・時刻を記憶し、プリント時に印字することができます。

パワースイッチを押して電源をONにしてから、DATEスイッチを押して、プリントしたい表示モードを選択します。

＊ DATEスイッチを押す毎にモードが切替り循環します。

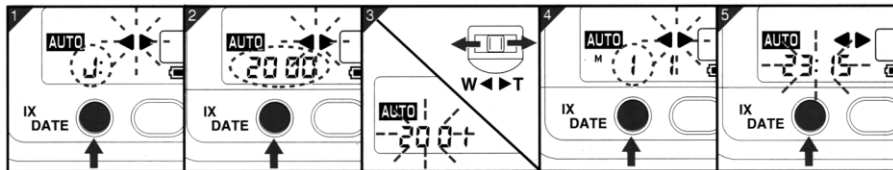
＊ 表示モードと実際のプリント時に印字される内容の組合わせは、下表の通りです。

表示モード ＊（　）内は表示例	実際の印字内容 ＊（　）内は印字例
月・日表示（M１０ １５）	年・月・日（０１．１０．１５）
時・分表示（２３：１５）	年・月・日・時・分（０１．１０．１５ ２３：１５）
表示なし（−− −−）	印字なし
タイトル番号［１〜９］表示（J：−９）	年・月・日・タイトル（０１．１０．１５ コンニチワ）
西暦表示（２００１）	年・月・日（０１．１０．１５）

＊ 印字される年・月・日の順序は、選択言語に対応して自動的に内部設定されます。

＊ 背景によってはおもて面のデート文字が見えにくくなる場合があります。

＊ 印字される文字の大きさ、形状、印字位置、両面への印字の可否などはAPSの現像プリントサービス認定店によって異なる場合がありますので、店頭にてご確認ください。

日付・時刻の修正/言語記号選択（＊電池を初めて入れたとき、交換したときは、必ず修正・確認をしてください。）

1 パワースイッチを押して電源をONにした後、DATEスイッチを1.5秒以上押し続けると、ズームレバーマーク(◀▶)と言語記号(J:)が点滅して、修正モードになります。

＊ ここで、ズームレバーを押すとタイトルの言語記号が選択できます。日本語タイトルを使用の場合は、初期設定は既に「J」(日本語)になっていますので、言語選択の必要はありません。

2 言語記号選択後(または選択せずに)、DATEスイッチを押すと、西暦(4桁)が点滅します。

3 ズームレバーを押して、点滅している数字を修正します。Ｔ側に押すと数字は進み、Ｗ側に押すと数字は戻ります。

4 修正が終わったら、DATEスイッチを押してください。修正する箇所が切替ります。

＊ 3 4の操作を繰り返し、月・日と時・分を修正してください。

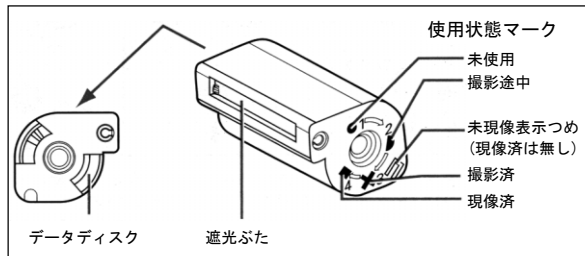
5 分まで修正した後にDATEスイッチを押すと、:が点滅しますので、もう一度DATEスイッチを押してください。
:の点滅が点灯となり修正モードが終わります。

＊ 秒まで合わせる場合は、:の点滅時に時報のゼロ秒時に合わせて、DATEスイッチを押してください。

＊ 修正モードが終わると、月・日表示になります。

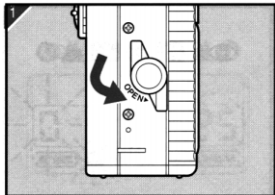
3. カートリッジの入れ方

＊IX240カートリッジフィルムをご使用ください。

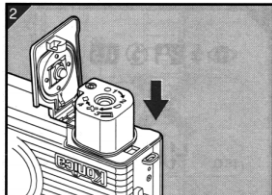
カートリッジフィルムについて

＊ このカメラは、従来のJ135（35㎜）フィルムは使用できません。

＊ このカメラでは、使用状態マークが●（未使用）または◗（撮影途中）を表示しているカートリッジが使用できます。

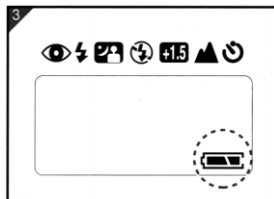
＊使用状態マークが、✖（撮影済）または■（現像済）を表示しているカートリッジは使用できません。

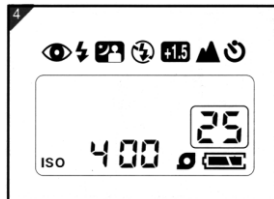
- ⊘ カートリッジは分解しないでください。
- ⊘ 遮光ぶたを開けないでください。
- ⊘ 使用状態マークおよびデータディスクを動かさないでください。
- ⊘ 使用状態マークの未現像表示つめを折らないでください。
- ⊘ カートリッジを磁石やスピーカーなどの電気製品の近くに置かないでください。

フィルム室開放レバーを矢印方向へ回してください。

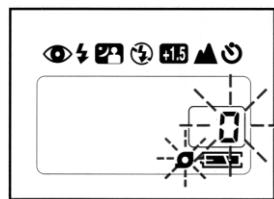
フィルム室カバーが開きます。

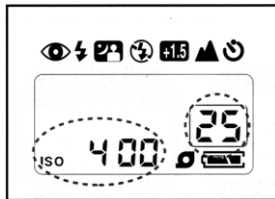
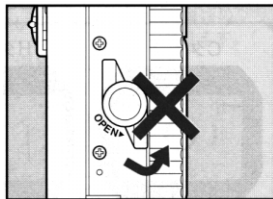
＊ 撮影途中のフィルムがカメラに入っているときは、フィルム室開放レバーがロックされます。無理に操作しないでください。

カートリッジを、使用状態マーク側を上にして入れ、フィルム室カバーをカチッというまで確実に閉じてください。自動的にフィルムを送り始めます。

⊘ カートリッジは逆向きなど無理な力で入れないでください。

＊ カートリッジを入れると、使用フィルムの感度(ISO25～3200)が自動的にセットされます。

フィルムを送り始めると最初の数秒間は、撮影表示パネルには、電池マークのみが表示されます。

> ⊘ このとき、フィルム室開放レバーを操作しないでください。

撮影表示パネルにマークが点灯した後、フィルム感度と撮影可能枚数が表示され、フィルムは1枚目の撮影位置で自動停止します。

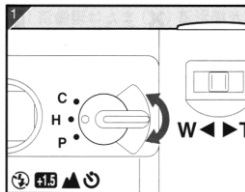
＊ フィルムカウンターは残りの撮影できる枚数（規定撮影枚数）を表示します。

もし、フィルムが正しく送られなかったときは、撮影表示パネルにマークと“0”が約5秒間点滅した後、点灯します。

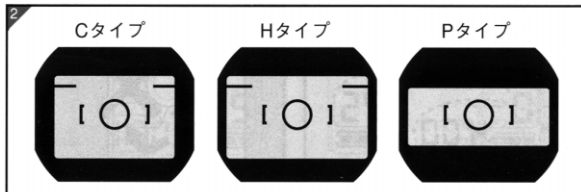
> ＊ この場合、未使用でもカートリッジの使用状態マーク（●）は撮影済（✖）表示となり、再使用はできなくなります。

フィルムが入っていて電源OFFのときは、撮影表示パネルのデート表示部分にはフィルム感度が表示されます。また、フィルムカウンターには、規定撮影枚数が表示されます。

＊ 撮影途中のフィルムがカメラに入っているときには、誤ってフィルム室カバーが開かないように、フィルム室開放レバーがロックされます。フィルム室開放レバーを無理に操作しないでください。

＊ このカメラでは、使用状態マークが撮影済(✖)または現像済(■)を表示しているカートリッジは使用できません。これらのカートリッジを入れると撮影表示パネルには◘マークと“0”が点滅します。

4. プリントタイプの切替え

＊１本のフィルムの途中で、３種類のプリントタイプの切替えができます。

＊このカメラは、C/H/Pの３種類のプリントタイプを選択することができます。

プリントタイプ切替えレバーを動かして、ご希望に応じてプリントタイプを切替えてください。

＊ レバーの指標をC/H/Pのいずれかの文字の指標に合わせてください。

ファインダー内の撮影範囲フレームが切替わります。

＊ 図の青い部分が、それぞれの写る範囲です。

＊ Ｃタイプは従来のプリントサイズ、Ｈタイプはワイドなハイビジョンサイズ、Ｐタイプはパノラマサイズです。

＊ Ｐタイプの撮影画面では、被写体から2m以上離れて撮影することをおすすめします。

プリントタイプの切替えについて

選択したプリントタイプは、撮影時にフィルム上に磁気記録されます。
C/H/Pのどのプリントサイズを選択してもフィルム上では常にHタイプの画面サイズで写し込まれますが、プリントの際には、磁気記録したデータに基づき、選択されたプリントタイプでプリントされます。
(ネガカラーフィルム使用の場合)

＊ ３種類のプリントタイプの縦横比は、次のようになります。
( )内が標準的縦横比。

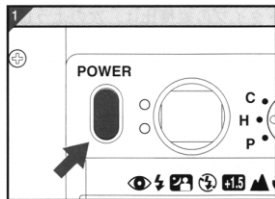
Cタイプ
(2:3)

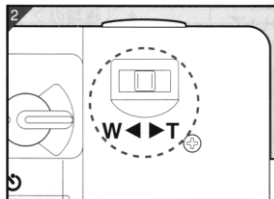
（ふつうのサイズ）

Hタイプ
(9:16)

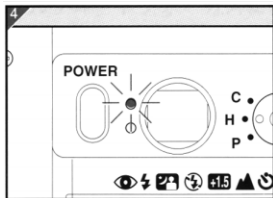
Pタイプ
(1:3)

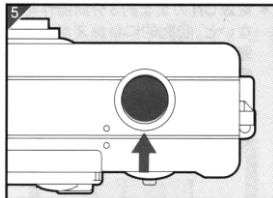
5. 撮影方法(一般撮影)

＊すべての撮影に共通する基本的な撮影手順をＨタイプの撮影画面で説明します。

パワースイッチを押してください。レンズカバーが開き、レンズが撮影位置まで繰り出して、電源ONとなります。

＊ 前面のレンズが汚れていたら、柔らかい乾いた布で軽く拭き取ってください。

ファインダーをのぞき、ズームレバーを押して構図を決めます。
Ｔ側に押すと望遠側(50mmまで)、Ｗ側に押すと広角側(23mmまで)に画面が移動します。希望の構図になった所で指を離して止めてください。

ピントを合わせたい被写体に、オートフォーカスフレームを合わせます。

＊ このカメラは、マルチオートフォーカス機能を内蔵しています。

シャッターボタンを半押しすると緑ランプが点灯し、自動的にピントが合います。

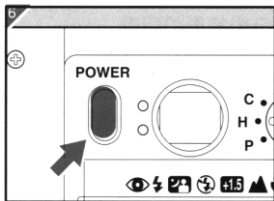
＊ シャッターボタンは、半押しのままにしてください。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、シャッターをきってください。

＊ 撮影が終わるとフィルムが１コマ自動的に送られ、フィルムカウンターの数字が１つ減算されます。

日中撮影の距離

焦点距離	撮影距離
23 mm	0.5 m ～∞
50 mm	0.35 m ～∞

＊ 撮影距離が1m以下のときは、近距離撮影になります。

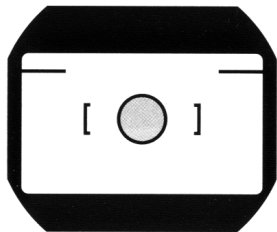
＊ シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅したときは、被写体が近すぎてピントが合わない警告ですからシャッターはきれません。
シャッターボタンから指を離し、被写体から少し離れてシャッターボタンを押し直してください。

撮影が終わったらパワースイッチを押してください。

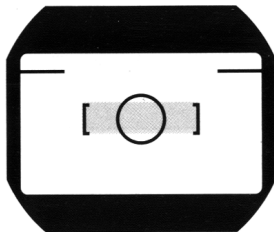
レンズが収納されて、レンズカバーが閉まり、電源がOFFとなります。

* フィルムが入っていて電源OFFのときは、撮影表示パネルのデート表示部分にはフィルム感度が表示されます。

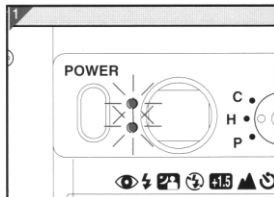
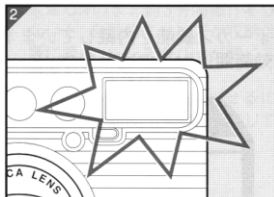
* 電源ONのまま約３分間操作をしないと、自動的にレンズが収納位置に戻り、レンズカバーが閉じて電源OFFになります。
  撮影可能な状態に復帰させるには、パワースイッチを押し直してください。

マルチオートフォーカスについて

* このカメラは、マルチオートフォーカス機能を内蔵しています。
  このマルチオートフォーカス有効範囲は以下の通りです。

広角撮影(23mm側)のときは、オートフォーカスフレームの円(○)内の被写体にピントが合います。

* 図の青い部分が、ピントの合う範囲の目安です。

望遠撮影(50mm側)のときは、オートフォーカスフーレームの[　]枠内の被写体にピントが合います。

* 図の青い部分が、ピントの合う範囲の目安です。

6. 自動フラッシュ撮影 AUTO ＊暗いときはフラッシュが自動的に発光します。

シャッターボタンを半押しして、緑ランプと共に赤ランプが点灯したら、フラッシュが自動的に発光する表示です。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、フラッシュ撮影してください。

＊ フラッシュ撮影後の赤ランプ点灯は、充電中ですからこの間シャッターはきれません。

＊ フラッシュ発光時のシャッター速度は、最長約1/60秒までとなります。手ぶれにご注意ください。

＊ 人物のフラッシュ撮影には、赤目軽減撮影(44ページ)をおすすめします。

フラッシュ撮影の距離(ネガカラーフィルム使用の場合)

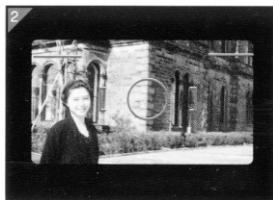
フィルム感度	焦点距離	
	広角撮影（23 mm）	望遠撮影（50 mm）
ISO100	0.5 m～3.4 m	0.35 m～1.7 m
ISO200	0.5 m～4.8 m	0.35 m～2.4 m
ISO400	0.5 m～6.8 m	0.35 m～3.4 m

7. フォーカスロック撮影

＊被写体が画面中央から外れるときは、フォーカスロック撮影をしてください。

ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを半押しにしてください。緑ランプが点灯し、ピント位置が固定されます。

＊ シャッターボタンは、半押しのままにしてください。

＊ フォーカスロックと同時に露出も固定されます。

シャッターボタンを半押ししたまま希望の構図に決め直し、シャッターボタンをさらに深く静かに押し込みシャッターをきってください。

＊ 半押しした指をシャッターボタンから離すとフォーカスロックは解除され、やり直しができます。

オートフォーカスが正しく働きにくい被写体

①光を反射しにくい黒いもの
②小さいもの、細いもの
③発光体
④光沢のあるもの
⑤雨、霧、煙等の実体のないもの

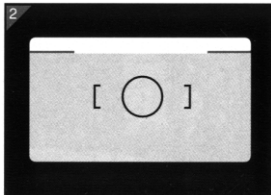
これらはオートフォーカスしにくいので、同じ距離のオートフォーカスしやすいものに向けてフォーカスロックをしてから撮影してください。
また、ガラス越しの遠景撮影の場合は、遠景撮影モードで撮影してください。

＊ 構図を決め直すときに、撮影距離が変わらないようにご注意ください。撮影距離が変わったときは、やり直してください。

8. 近距離撮影

＊0.5m(0.35m)まで近づいて近距離撮影ができます。

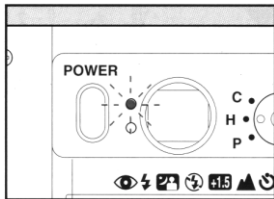
0.5m(0.35m)～1mに近づいてピントを合わせたい被写体に、オートフォーカスフレームを合わせます。

＊ 望遠50mmにセットすると、0.35mまで近づいて撮影ができます。
このときは、構図に余裕をもたせて撮影してください。

ファインダー内の近距離補正マークより下側で構図を決め、シャッターボタンを押してください。

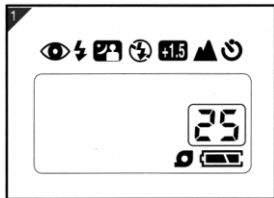
＊ 図の青い部分が写る範囲です。

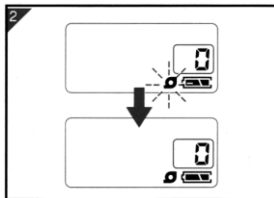
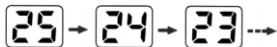
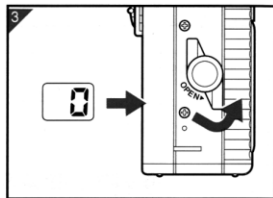
＊ 構図上、被写体がオートフォーカスフレームから外れる場合はフォーカスロック撮影をしてください。

＊ 三脚を使い、セルフタイマー撮影をすると、手ぶれを防げます。

＊ Ｐタイプの撮影画面で近距離撮影するときは、撮影フレーム範囲いっぱいに被写体を入れるとプリント時に被写体の一部がカットされることがありますので、構図の上側に余裕をもたせて撮影してください。

シャッターボタンを半押しして、
緑ランプが点滅したときは...

* 撮影距離が近すぎて、ピントが合わない警告です。この場合、シャッターはきれません。
  シャッターボタンから指を離し被写体から少し離れてシャッターボタンを押し直してください。

9. カートリッジの取り出し方

フィルムの規定枚数の撮影が終わると、自動的に巻き戻しが始まります。

＊ フィルムカウンターは、巻き戻しに連動して、撮影済みの枚数から減算表示していきます。

巻き戻しが完了すると自動的に停止し、撮影表示パネルにマークが約５秒間点滅した後、点灯します。また、フィルムカウンターには“０”が点灯します。

“０”点灯を必ず確認してから、フィルム室カバーを開けてカートリッジを取り出してください。

＊ 自動巻き戻しして取り出したカートリッジの使用状態マークは✖(撮影済)になります。

* “0”が点灯する前にフィルム室カバーを開けると、カメラが故障したり、フィルムが感光する恐れがあります。

* 低温時にフィルムの巻き戻しが途中で止まり、フィルムカウンター表示が点滅したときは常温で電池交換後、途中巻き戻しをしてください。

* 写し終わったカートリッジは、お早めに下記マークのあるAPSの現像プリントサービス認定店にお出しください。

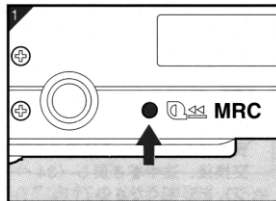
* 現像プリントサービス認定店ではAPS独自の各種プリントサービスが可能です。詳しくは店頭でお尋ねください。

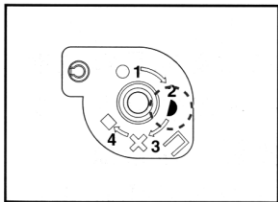
10. カートリッジ途中交換機能について MRC

カートリッジ途中交換機能(以下、MRC機能)
このカメラでは、撮影の途中で巻き戻していったんカメラから取り出したカートリッジを、またカメラに入れて、続きから撮影することができる機能が付いています。

●ご注意

- 途中巻き戻しして取り出したカートリッジをMRC機能のないカメラに装填すると、カートリッジの使用状態マークは✖表示(撮影済)となり、再撮影はできなくなります。
- MRC機能のないカメラで途中巻き戻ししたカートリッジ(✖表示)を、このカメラに入れても、続きから撮影はできません。
- 他社のMRC機能付きカメラで撮影して途中巻き戻ししたカートリッジ(◗表示)をこのカメラに使用された場合、正常に作動しないことがあります。

途中巻き戻しの方法

途中巻き戻しスイッチをストラップ調節具の突起部で押すと、撮影途中のフィルムの巻き戻しができます。

＊ 巻き戻し後の手順は、自動巻き戻しの場合と同じです。

途中巻き戻しして取り出したカートリッジの使用状態マークは、◗(撮影途中)になります。

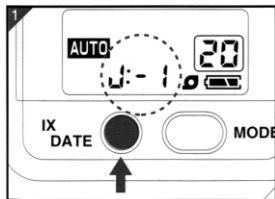
* 以下のような場所や条件下では、MRC機能が正常に作動しないことがありますので、途中交換カートリッジの使用を控えてください。
  - 強い電波や磁界を発生している物の近く。(テレビや携帯電話、パソコン、電子レンジなど)
  - 放送局(またはテレビ塔)、工事現場、変電所などのすぐ近く。

* カラーリバーサルフィルムにつきましては、磁気特性がネガフィルムと異なるため、MRC機能を保証できない場合があります。

応用撮影

タイトルの選択や撮影モードの切替えによる赤目軽減撮影、日中フラッシュ撮影、ポートレート夜景撮影、フラッシュなしの撮影、+1.5露出補正撮影、遠景撮影、セルフタイマー撮影、リモコン撮影および自分撮りモード撮影などの応用撮影について説明いたします。

11. タイトルの選択

＊撮影と同時に、選択したタイトルをフィルムに磁気記録し、印字することができます。

電源ONの後、DATEスイッチを押してタイトル番号表示を選択します。DATEスイッチを押す毎にタイトル番号が順次表示されますので、希望のタイトル番号を選択してください。

＊ タイトルを選択したときは、年・月・日も印字されます。

→(例)01.10.15コンニチワ

＊ タイトル番号9が表示された後DATEスイッチを押すと、日付表示に戻ります。

(例)
西暦年→月日→時分→(-- --)→J:-1→J:-2→J:-3→J:-4→J:-5→J:-6→J:-7→J:-8→J:-9→西暦年

日本語タイトルの内容

番号	タイトル（印字内容）
J－1	アイラブユー
J－2	オタンジョウビオメデトウ
J－3	オメデトウ
J－4	メリークリスマス
J－5	アケマシテオメデトウ
J－6	コンナニオオキクナリマシタ
J－7	カワイイデショ！
J－8	ヨロシク！
J－9	コンニチワ

＊ 一度選択したタイトル番号は、電源をOFFにしても保持されています。
再度電源をONにしたときには、タイトル内容をご確認の上、必要に応じて選択し直してください。

＊ 印字される文字の大きさ、形状、印字位置、対応言語などはAPSの現像プリントサービス認定店によって異なる場合がありますので、店頭でご確認ください。

他言語のタイトルを選択する

＊ 他言語のタイトルは、最初に希望の言語(言語記号)を選択してから、タイトル番号を選択してください。

＊ 日本語の他に、６言語からタイトルを選択することができます。

＊タイトル内容は選択した言語により異なります。また、選択した言語とタイトルの全てが印字可能とは限りませんので、印字可能であるかは撮影前にAPSの現像プリントサービス認定店でご確認ください。

言語の選択は、修正モードにしてから、ズームレバーをＴ側またはW側に押して、希望の言語記号を選択します。

＊ 選択後は、デート修正をしない場合は、DATEスイッチを数回押して、修正モードを終わらせてください。
修正モードが終わると、月・日表示になります。

言語記号表

記号	言語名
J	日本語（カタカナ）
E	米語（英語）
F	フランス語
d E	ドイツ語
S	スウェーデン語
E S	スペイン語
I	イタリア語

* 選択した言語は、電源のON・OFFに関わらず設定を変えるまで固定されます。

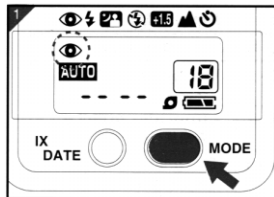
各言語のタイトル内容　＊カッコ内は日本語にした場合の意味

米　語（英語）		フランス語		ドイツ語	
番号	タイトル	番号	タイトル	番号	タイトル
E-1	Christmas（クリスマス）	F-1	Mariage（結婚）	dE-1	Weihnachten（クリスマス）
E-2	Birthday（誕生日）	F-2	Meilleurs Voeux（時候の挨拶）	dE-2	Geburtstag（誕生日）
E-3	Congratulations（おめでとう）	F-3	Joyeux anniversaire（誕生日おめでとう）	dE-3	Urlaub（休暇）
E-4	Holiday（休日）	F-4	Félicitations（おめでとう）	dE-4	Hochzeit（結婚）
E-5	Party（パーティ）	F-5	Joyeux Noël（メリークリスマス）	dE-5	Party（パーティ）
E-6	Wedding（結婚）	F-6	Bonne Année（明けましておめでとう）	dE-6	Ich liebe Dich（アイラブユー）
E-7	Thank You（ありがとう）	F-7	Fête des Pères（父の日）	dE-7	Ostern（復活祭）
E-8	New Year's（新年）	F-8	Fête des Mères（母の日）	dE-8	Erinnerungen（思い出）
E-9	Season's Greetings（時候の挨拶）	F-9	Baptême（洗礼）	dE-9	Fasching（謝肉祭の最終日）

各言語のタイトル内容　＊カッコ内は日本語にした場合の意味

スウェーデン語		スペイン語		イタリア語	
番号	タイトル	番号	タイトル	番号	タイトル
S-1	Semester （休暇）	ES-1	Cumpleaños （誕生日）	I-1	Vacanze （休暇）
S-2	Fest （パーティ）	ES-2	Vacaciones （休暇）	I-2	Luna di miele （新婚旅行）
S-3	Jag älskar dig （アイラブユー）	ES-3	Fiesta （パーティ）	I-3	Ti amo （アイラブユー）
S-4	Tack så mycket! （ありがとう）	ES-4	Viaje （旅行）	I-4	Buon Compleanno （誕生日おめでとう）
S-5	God Jul och Gott Nytt År! （時候の挨拶）	ES-5	Feliz cumpleaños （誕生日おめでとう）	I-5	Buon Natale （メリークリスマス）
S-6	Grattis på födelsedagen （誕生日おめでとう）	ES-6	Felicidades （おめでとう）	I-6	Battesimo （洗礼）
S-7	Gratulerar! （おめでとう）	ES-7	Feliz Navidad （メリークリスマス）	I-7	Carnevale （謝肉祭の最終日）
S-8	Välkommen! （ようこそ）	ES-8	Semana Santa （聖週間）	I-8	Prima Comunione （聖餐）
S-9	Lycklig resa! （良い旅を）	ES-9	Veraneo （夏休み）	I-9	Tanti Auguri （ご多幸をお祈りします）

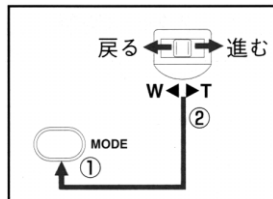
12. 撮影モードの切替え

＊被写体に応じて、最適な露出方法を選択できます。

モードスイッチを押す毎に撮影表示パネルに各撮影モードマークが順次表示され循環します。

＊ 一度設定したモードは、設定を変えるまで固定され、そのまま撮影が続けられます。また、電源をOFFにしてもモードは記憶されており、再度電源をONにした後は、AUTOに復帰しますが、モードスイッチを１回押すと、電源OFF時に設定されていたモードに自動的に再設定されます。
電源をONにしたときは、撮影モードをご確認の上必要に応じて選択し直してください。

＊ 撮影が終わったらAUTOに戻しておくことをおすすめします。

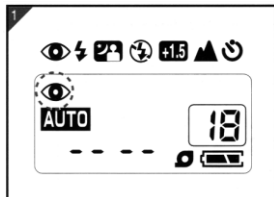
＊ セルフタイマーモードを選択すると、マークが同時に表示され、リモコン撮影も可能となります。

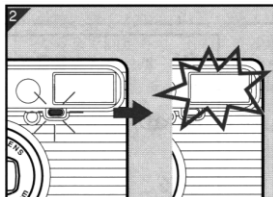
＊ 自分撮りモード以外の全ての撮影モードで、セルフタイマー撮影（またはリモコン撮影）ができます。

＊ モードスイッチを押しながら、ズームレバーを操作してもモード切替えが可能です。ズームレバーをW側に押すとモードを前に戻すことができ、T側に押すとモードを進めることができます。

撮影モードの循環

AUTO
自動フラッシュ撮影
(フラッシュAUTOモード)
赤目軽減撮影(ランプ点灯)
(フラッシュAUTOモード)
日中フラッシュ撮影
(フラッシュONモード)
ポートレート夜景撮影
(フラッシュONモード)
フラッシュなしの撮影
(フラッシュOFFモード)
+1.5
+1.5露出補正撮影
(フラッシュOFFモード)
遠景撮影
(フラッシュOFFモード)
セルフタイマー／リモコン撮影
(フラッシュAUTOモード)
赤目軽減撮影+セルフタイマー／リモコン
(フラッシュAUTOモード)
日中フラッシュ撮影+セルフタイマー／
リモコン(フラッシュONモード)
ポートレート夜景撮影+セルフタイマー／
リモコン(フラッシュONモード)
フラッシュなしの撮影+セルフタイマー／
リモコン(フラッシュOFFモード)
+1.5
+1.5露出補正撮影+セルフタイマー／
リモコン(フラッシュOFFモード)
遠景撮影+セルフタイマー／リモコン
(フラッシュOFFモード)

13. 赤目軽減撮影

AUTO ◉フラッシュAUTOモード

モードスイッチを押して、撮影表示パネルに◉マークを表示させます。

＊ セルフタイマー(またはリモコン)と組合わせて撮影する場合は、⏲と▯マークも表示させたモードにしてください。

シャッターボタンを押すと赤目軽減ランプが点灯した後にフラッシュが発光して撮影が終わります。

＊ 赤目軽減ランプが点灯してからフラッシュ発光までは約0.5秒かかります。この間、カメラを動かしたり、撮られる人が動かないようご注意ください。

＊ 明るい所では赤目軽減ランプ点灯とフラッシュ発光はしません。

赤目現象とは…

暗い場所で人物のフラッシュ撮影をしたときに、フラッシュ光が目の網膜に反射して目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象といいます。
このモードでは、赤目軽減ランプで瞳孔を小さくした上でフラッシュが発光しますので、赤目現象の発生を軽減します。

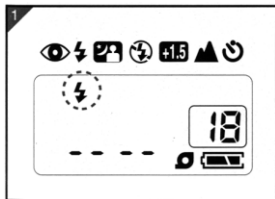
効果的な被写体

暗い場所での人物のフラッシュ撮影。

＊ 赤目軽減効果の度合いには個人差がありますが、赤目現象を起こりにくくするには、

① 撮られる人に、視線をランプの方へまっすぐに向けてもらう
② 撮りたい人になるべく近づいて撮影する

などしてください。

14. 日中フラッシュ撮影　フラッシュONモード

モードスイッチを押して、撮影表示パネルにマークを表示させます。

＊ セルフタイマー(またはリモコン)と組合わせて撮影する場合は、とマークも表示させたモードにしてください。

日中フラッシュ撮影

シャッターをきると、明るい所でも常にフラッシュが発光します。

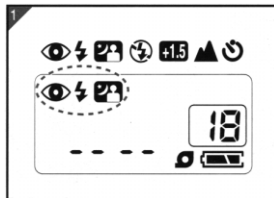
＊ シャッターボタン半押しで、緑ランプと赤ランプが同時に点灯します。

フラッシュなし

効果的な被写体

①逆光の人物
②室内の窓際の人物
③曇りの日の人物
④日陰の人物

15. ポートレート夜景撮影

フラッシュONモード

モードスイッチを押して、撮影表示パネルにマークを表示させます。

＊ 手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

＊ セルフタイマー(またはリモコン)と組合わせて撮影する場合は、とマークも表示させたモードにしてください。

ポートレート夜景撮影

シャッターをきると、最長約１秒までのスローシャッターによるフラッシュ撮影ができます。

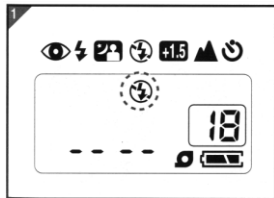
＊明るい所でも赤目軽減ランプが点灯し、その後フラッシュが発光します。この間、カメラを動かしたり、撮られる人が動かないようにしてください。

＊ 被写体が動いているときは、ぶれて写ります。

自動フラッシュ撮影

効果的な被写体

①夜景をバックにした人物
②夕暮れをバックにした人物
③バックにフラッシュ光が届かない室内の人物

16. フラッシュなしの撮影 フラッシュOFFモード

モードスイッチを押して、撮影表示パネルにマークを表示させます。

＊ セルフタイマー(またはリモコン)と組合わせて撮影する場合は、とマークも表示させたモードにしてください。

スローシャッターによる撮影

シャッターをきると、最長約１秒までのスローシャッターによるフラッシュ発光なしの撮影ができます。

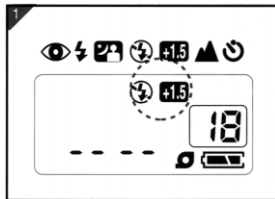
＊ 暗い場所ではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

＊ 赤ランプが点滅したら手ぶれ警告です。

効果的な被写体

①フラッシュ使用が禁止されている場所での撮影(美術館など)
②夜景の撮影
③日没時の風景
④室内照明を利用しての撮影

17. ＋1.5露出補正撮影

フラッシュOFFモード

モードスイッチを押して、撮影表示パネルに+1.5マークを表示させます。

＊ セルフタイマー(またはリモコン)と組合わせて撮影する場合は、とマークも表示させたモードにしてください。

＋1.5露出補正撮影

シャッターをきると、標準より約1.5絞り明るい自動露出撮影ができます。

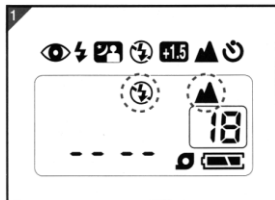
＊ 暗い場所では手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

＊ フラッシュは発光しません。

露出補正なしの撮影

効果的な被写体

①画面全体を明るく仕上げたいとき
②スキー場の人物
③逆光の人物
④白バックの人物
⑤明暗コントラストが強い建物の暗部を明るく写したいとき

18. 遠景撮影　フラッシュOFFモード

モードスイッチを押して、撮影表示パネルに▲マークを表示させます。

＊ セルフタイマー(またはリモコン)と組合わせて撮影する場合は、と マークも表示させたモードにしてください。

ガラス越しの風景を遠景撮影

オートフォーカスフレーム内の被写体に関係なく、遠景にピントのあった撮影ができます。

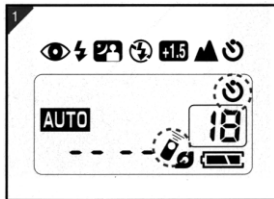
＊ 夕・夜景など暗いときの撮影はシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

＊ フラッシュは発光しません。

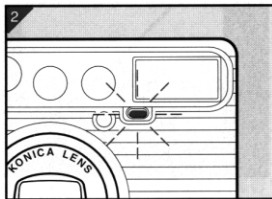
一般撮影

効果的な被写体

①遠い風景
②ガラス越しの風景

19. セルフタイマー撮影

モードスイッチを押して、撮影表示パネルに マークを表示させます。

＊ このモード選択時に、リモコン撮影の選択も可能となります。

＊ 自分撮りモード以外の全ての撮影モードで、セルフタイマー撮影ができます。

シャッターボタンを押すとセルフタイマーがスタートし、約10秒後にシャッターがきれます。

＊ セルフタイマーのスタートと同時にセルフタイマーランプが約７秒間点滅した後、約３秒間点灯してシャッターがきれます。

＊ 三脚をご使用ください。

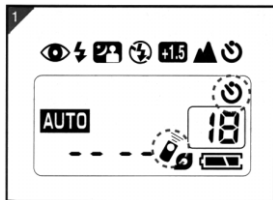
＊ シャッターボタンはカメラの後側に立って押してください。前側からでは正しいピント、露出が得られません。

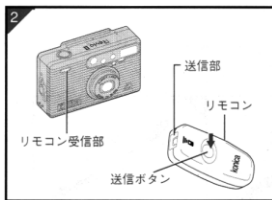
＊ シャッターボタンを押したときにフォーカスロックされます。

＊ セルフタイマーの作動をキャンセルしたいときは、パワースイッチを押して電源をOFFにしてください。

＊ 撮影が終わってもモードは解除されません。セルフタイマー撮影が終わったらAUTOモードに戻しておくことをおすすめします。そのままにしておくと次の撮影もセルフタイマーが作動します。

20. リモコン撮影

＊カメラから離れた撮影することができます。

セルフタイマーモードを選択すると、マークが同時に点灯し、リモコン撮影が可能となります。

＊ 自分撮りモード以外の全ての撮影モードで、リモコン撮影ができます。

リモコンの送信部をカメラの受信部に向けて、送信ボタンを押すと、赤目軽減ランプが３秒間点滅した後、シャッターがきれます。

＊ 自動パワーOFFの状態では受信されません。

＊ 三脚をご使用ください。

＊ 受信可能距離は、約5m以内(正面)です。

＊ リモコン受信部に太陽や蛍光灯などの光が強く当たっているとき、或いはインバーター式蛍光灯が近くにあるときはリモコン撮影できないことがあります。そのようなときは、セルフタイマー撮影するかカメラを移働させてください。

＊ 撮影が終わってもモードは解除されません。リモコン撮影が終わったらAUTOモードに戻しておくことをおすすめします。そのままにしておくと次の撮影でセルフタイマーが作動します。

リモコンの取付け方

＊ リモコンはストラップに取付けることができます。
＊ 取外す場合は、逆の手順で行ってください。

⚠警告 爆発して大けがの危険があります。リモコンを火の中に入れたり、加熱しないでください。

＊ リモコンには電池が入っています。撮影できなくなったら、電池交換してください。
リモコン裏面にある小さな＋ネジ２本を外すと、リモコンが２分割でき、電池(CR2025)交換が可能です。

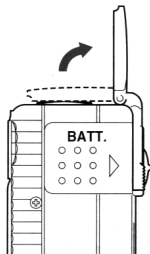
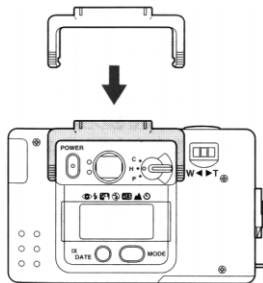
21. 自分撮りモード撮影

フラッシュONモード

●自分撮りミラーアダプターの取付け方

（付属のミラーアダプターをカメラ本体に取付けて撮影します。）

1. ミラーアダプターをカメラ背面のアイピース枠にはめ込み固定させます。

2. 撮影の際は、ミラーを起こしてください。

自分撮りモード使用上のご注意

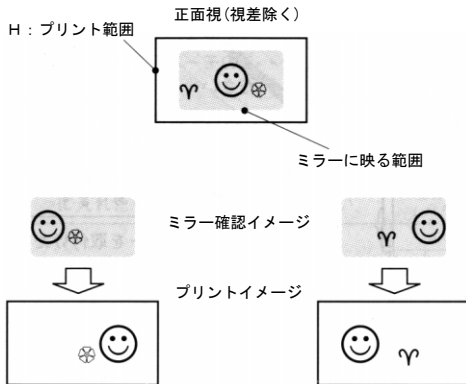
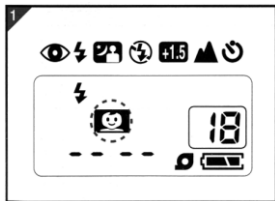
⊘ フラッシュ発光で目を痛める危険があります。次のことを必ずお守りください。
- ・乳幼児と一緒に撮影しないでください
- ・撮影距離を0.5m以下では使用しないでください
- ・このモードを連続して使用しないでください

⊘ 車の運転中に使用しないでください。事故の原因となります。

● フラッシュを見つめて撮影すると、目に残像が残る場合があります。

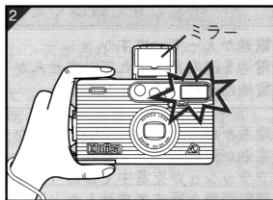
＊ ミラーアダプターを取付けたままでも、ミラーを倒してカメラケースに収納することができます。

●撮影範囲

(撮影の際は、ミラーを起こし、ミラーで撮影範囲を確認してください。ミラーで確認できる撮影範囲は下図を参考にしてください。)

* ミラーでの確認は、ミラーの正面から見た場合に撮影画像と対応させたもので、ミラーの正面以外から見た場合は、実際の構図と異なります。
* 図のように、ミラーに映った構図と実際のプリントは左右が逆になります。
* ミラーで構図を決める場合は、おおよその目安としてお使いください。また、構図に余裕を持たせるには、Hタイプの撮影フレームで撮影することをおすすめします。
  C、Pタイプの撮影フレームで撮影した場合、ミラーで確認した範囲内でも、プリント時に被写体の一部がカットされることがあります。
* ピント位置は約0.55mに固定されます。
* ピントの合う範囲は、約0.4m～1mです。

ミラーを起こすと、撮影表示パネルにマークが点灯し、自動的に自分撮りモードに設定されます。

＊ このモードでは、レンズ位置が自動的に広角側(23mm)にセットされます。望遠撮影はできません。

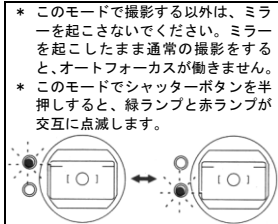
＊ 他の撮影モードと組合わせての撮影はできません。

＊ 手ぶれにご注意ください。

カメラは、レンズ側を自分の方へ向けて持ち、ミラーで撮影範囲をご確認の上、シャッターボタンを押してください。フラッシュが発光して撮影が終わります。

＊ ミラーを倒すと、このモードは解除され、AUTOも戻ります。撮影終了後は、ミラーを必ず倒してください。

＊ 撮影距離が0.5m以上となるよう腕を伸ばして、カメラを持ってください。

＊ このモードで撮影する場合、手首にストラップを通し巻き付けるなどしてカメラを落とさないようにご注意ください。

＊ フラッシュモードは、強制発光(マーク)に固定され、明るい所でもフラッシュが発光します。

＊ このモードで撮影する以外は、ミラーを起こさないでください。ミラーを起こしたまま通常の撮影をすると、オートフォーカスが働きません。

＊ このモードでシャッターボタンを半押しすると、緑ランプと赤ランプが交互に点滅します。

おもな仕様

＊下記性能については当社試験条件によります。
＊製品の仕様、外観については予告なく変更することがあります。

項目	仕様
形　式	：I X 240 レンズシャッター式ＡＦ全自動カメラ（ズームレンズ及び磁気 I X 機能内蔵）
画面サイズ	：16.7 × 30.2 mm
レンズ	：コニカズームレンズ 23 mm F3.9 ～ 50 mm F7.9（5群5枚）、レンズカバー付き
パワースイッチ	：電源 ON でレンズカバーが開きレンズが繰り出す、電源 OFF でレンズが収納されレンズカバーが閉じる、約3分間操作をしないと自動的に電源 OFF しレンズ収納
シャッター	：絞り兼用プログラムシャッター、電磁レリーズ、約1秒～約 1/500 秒
焦点調節	：赤外光アクティブ式マルチオートフォーカス、撮影範囲：f =23 mm 0.5 m ～∞, f =50 mm 0.35 m ～∞、撮影範囲外レリーズロック（緑ランプ点滅）、フォーカスロック可能、遠景撮影可能
露出調節	：光導電素子使用のプログラム AE、中央重点測光
露出連動範囲	：ISO200 フィルム使用時　f =23 mm EV4 ～ EV16、f =50 mm EV6 ～ EV17
フィルム感度	：自動設定（ISO25 ～ ISO3200）
ファインダー	：実像式ズームファインダー、オートフォーカスフレーム、近距離補正マーク（C/H タイプのみ）、ファインダーわきに緑ランプ（点灯；AF・AE ロック、点滅；近距離警告）、赤ランプ（点灯；フラッシュ発光表示、フラッシュ充電中表示、点滅；フラッシュなしの撮影モード時の手ぶれ警告）
フラッシュ	：手ぶれ限界の低輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、発光間隔・約 1.5 ～ 3 秒、連動範囲・（ISO200 カラープリント用フィルム使用時）f =23 mm 0.5 m ～ 4.8 m, f =50 mm 0.35 m ～ 2.4 m
プリントタイプ	：プリントタイプ切替えレバーによりファインダー内の撮影範囲フレームを C タイプ, H タイプ, P タイプの3種類に切替え、プリントタイプは撮影時にフィルムに自動的に磁気記録、フィルム途中の切替え可能

項目	内容
モード切替え	①モードスイッチ：自動フラッシュ撮影、赤目軽減撮影、日中フラッシュ撮影、ポートレート夜景撮影（赤目軽減機能付き）、フラッシュなしの撮影、＋1.5露出補正撮影、遠景撮影、セルフタイマー/リモコン撮影のモードを組合わせ選択可能（撮影表示パネルに選択及び組合わせ状態を表示） ②自分撮りモード：ミラーアップによりモード自動設定、撮影範囲；約0.4 m～1 m
セルフタイマー	電子式、作動時間・約10秒、セルフタイマーランプが約7秒間点滅した後に約3秒間点灯、途中解除可能
フィルム給送	電動式、フィルム室カバーを閉じるとスタートするワンタッチドロップインローディング、自動巻き上げ、フィルム規定撮影枚数の撮影終了で自動巻き戻し、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能、カートリッジ途中交換（MRC）機能付き
フィルムカウンター	減算式、撮影可能枚数を撮影表示パネルに表示、ELバックライト付き
オートデート	液晶表示式デジタルウォッチ内蔵、2050年までの年／月日／時分／写し込みなしを表示、秒単位まで修正可能、年は西暦4桁表示可能、自動的に磁気記録、月差；±90秒以内
タイトル	7言語9タイトルより選択可能、撮影時に自動的に磁気記録
リモコン	赤外光利用の専用リモコンシステム、送信ボタンで始動、受信可能距離約5 m以内（正面）、電池CR2025・3V 1個、電池寿命約10,000回
使用温度範囲	－10℃～＋50℃
電池寿命	50% フラッシュ発光のとき約27本（25枚撮りフィルム）
電　源	リチウム電池（ＣＲ２・３Ｖ）１本
大きさ	89.5×56.5×27 mm
質量（重さ）	130 g（電池別）